



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【福島市立吾妻中学校】

1 実践テーマ	I ・ ・ III ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 225名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (オリ・パラ推進事業講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの開催について理解を深めるとともに、アスリートの思いに触れることにより、自己の可能性を見出し、自己有用感を育成する。
5 取組内容	<p>◇取組1「オリンピック聖火トーチの鑑賞によるオリンピック開催の意義と歴史を知る。」</p> <p>聖火トーチやオリンピックに関わる説明が記載されたパネルの展示・鑑賞を通して、オリンピック開催の意義と歴史について理解を深めた。聖火トーチを実際に手に取り、聖火リレーの雰囲気を感じ取ることができた。</p>  <p>◇取組2「パラリンピックアスリートによる講演会において、障がい者スポーツへの理解、競技をする上での心構え等について理解を深める。」</p> <p>東京 2020 パラリンピック陸上女子 400mT13 で7位入賞した東邦銀行陸上競技部の佐々木真菜氏から「あきらめない心」という演題で前向きに取り組む佐々木氏の話聞き、生徒たちは感動していた。</p> 

<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック聖火トーチの鑑賞を通して、オリンピックに対する意識は大きく変容した。特に、オリンピックが開催されるまでの流れやオリンピックの歴史について、理解を深めることができた。</p> <p>パラリンピックアスリートによる講演会では、東京2020パラリンピックに出場した選手であり、さらに地元出身であることから非常に関心度が高いものとなった。障がい者スポーツについての理解を深め、前向きに努力する姿に生徒は感動した。事後の感想には、「佐々木選手の何事にもあきらめずに頑張っていることが素晴らしい。」「佐々木選手のように夢に向かって頑張りたい。」という内容が多く挙げられた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>地元のあづま球場でのオリンピック観戦は実現しなかった。そのため、オリンピックイヤーを実感できるものとして、オリンピック聖火トーチの展示・鑑賞を行い、オリンピック開催を感じ取れるようにした。</p> <p>さらに、実際に東京2020パラリンピックに出場した地元の陸上競技の佐々木氏に講演いただくことで、オリンピック・パラリンピックを身近に感じられる機会とした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>今回は、コロナ感染拡大防止という観点からオリンピックを実際に観戦することはできなかった。やはり、実体験に勝るものはないと考える。</p> <p>しかし、その代替え措置として、聖火トーチの展示鑑賞や講演会における映像などオリンピック・パラリンピックをイメージできるものは有効であった。</p> <p>今後同じような事業を計画する場合は、実体験を伴うものが計画されていることが必須であるように考える。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>来年度以降については未定であるが、本事業を活用できるよう講演会等を適宜、設定していきたいと考えている。</p>